

2012/04/06(金)17:58

履修コード	112901		
開講年度	2012年度 前期～後期	単位数	4
科目名	演習III	付記	
担当教員氏名(主担当)	小林 正人	カナ氏名(主担当)	コバヤシ マサト
担当教員氏名(副担当)		カナ氏名(副担当)	
授業概要／到達目標（ねらい）	テーマは「戦後日本の産業発展と景気循環」。 このゼミでは「卒業研究」(卒業論文のみ)の作成を指導します。これにより各ゼミ生は、4年間の経済学部での学習と研究を集大成します。 3年生までのゼミでの調査や研究をふまえて、各ゼミ生が研究したい産業ないし業種について、あるいは特定の経済問題や労働生活問題について、テーマを自発的に決め、歴史と現状、問題点や課題などを卒業論文にまとめます。		
授業スケジュール	「卒業論文の提出までに必要な事前審査」として、(1～2)各ゼミ生による「卒論プラン」の発表、(3～4)参考文献一覧の提出、(5～10)文献研究発表、(11～15)卒論の予定目次と題名の発表、(16～20)卒論の本論の中間発表、(21～25)結論の発表と審査、(26～30)最終稿の総合審査という各段階があります。最終稿の締め切りは11月末のゼミの日です。 (注意)夏季休業の前後に、「卒業研究論題届」を教務部に出しておくこと。 上記の事前審査を通った論文は、教務部に提出できます(12月)。さらに卒業論文集(仮称『日本経済学生論集』)として編集し、印刷、製本します。したがって、卒論の最終稿はワープロを使い一定の書式に従って提出します。 なお適時、最新の新聞の経済関連記事を使うので、購入してくることを。		
準備学習	各自の「卒論プラン」に沿って文献研究をすすめ、発表の準備をすること。		
履修上の留意点	ゼミの円滑な運営のためのルールと役割分担に従うこと。		
成績評価の方法	上記の「卒業論文の提出までに必要な事前審査」を通ってきたかどうかを評価します。		
教科書／テキスト			
参考書	高価な文献で、卒論に必要なものがあれば、早めに申し出ること(研究費で購入する)。		
その他	「卒業研究」(4単位、卒業論文のみ)を併設。		
関連リンク			